

元気がわら版

庄原市社協だより1月号【Vol.117】

「おせちお届け隊」事業



年末年始に家族が帰省されず、買い物や調理が困難で自分でおせちの準備ができない高齢者世帯を対象に、今年も12月29日～31日にかけて「おせちお届け隊」事業を行いました。

お届けしたおせち弁当は市内7地域で472食、小学生から高齢者まで幅広い年代のボランティアさん297名の協力をいただきました。

今年の正月は一人でさみしいです。今日はありがとう。



北小学校の全校児童が作成してくれました。



完成したおせちです!!

この事業は「赤い羽根共同募金配分金」の一部を活用し実施しています。



P1・・・おせちお届け隊事業

P2・・・おせちお届け隊事業

P3・・・成年後見制度とは？

P4・・・元気報告 庄原・西城・東城・口和

P5・・・元気報告 高野・比和・総領・介護のワンポイント

P6・・・よろず相談・声の友の会主催養成講座・協力寄付金

P7・・・寄付金

P8・・・地域のものがたり(東城)・広告

おせちお届け隊

調理



高校生ボランティアに大助かり!!



若い世代も協力し和気あいあいと調理しました。



今日はおせちについて色々な事を教えてもらう事ができ勉強になりました。



今年はじめて協力して下さった方もみんなとワイワイ言いながらおせち弁当を作りました。

配達



可愛い配達さんに思わず笑顔がこぼれます。



風邪をひかないように気をつけて新年をお迎えください。

掛け紙、メッセージカード



庄原小・永末小の児童の皆さん作成のメッセージカードも一緒にお届けしました。



全校生徒の顔写真入り上掛け (比和小)

この活動は、配達・調理など多くのボランティアさんの活躍で成り立っています。野菜や調味料など、食材もたくさん提供いただきました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

成年後見制度（法定後見）とは？

ものごとを適切に決めることが一人では難しくなった場合に、本人の思いを大切にしながら、財産や生活についての重要なことを決める人「成年後見人等」を家庭裁判所が選び、ご本人が不利益にならないように守る制度です。

Q どんな人が利用できるの？

A 認知症や障がいなどによって物事を適切に決めることが一人では難しくなり、財産管理や生活全般において支援が必要になった人が利用できます。

※判断能力の程度によって、補助・保佐・後見の3つの制度があります。

分、遺産相続の手続きなど）

※補助・保佐・後見のいずれかによって支援内容が異なります。

Q どうすれば利用できるの？

A ●ご本人の住所地を担当する家庭裁判所に、必要な書類を整えて提出します。
(以下「申立」といいます。)

●申立てができる人は、ご本人、配偶者、四親等以内の親族、市長などです。

※申立てから成年後見人等が決まるまでの期間は、3ヶ月程度です。

Q 誰が支援してくれるの？

A ●家庭裁判所が選んだ成年後見人等が支援します。

※成年後見人等には、親族のほか、弁護士や司法書士、社会福祉士などの

専門職や社会福祉協議会などの法人が選ばれることもあります。

Q 費用はかかるの？

A ●申立てるときに、必要な書類の取り寄せや手続きに費用がかかります。

●支援開始後の成年後見人等への報酬の金額は、家庭裁判所がご本人の不利益にならないように決めます。

Q 庄原市社協はこの制度利用のために何をしてくれるの？

A ●制度利用のための相談窓口を設置しています。お気軽にご相談ください。

●家庭裁判所への申立てについて、側面的にお手伝いします。

●他に適切な受任者(成年後見人等)がない場合、庄原市社協が受任(法人後見)します。

※ただし、受任条件があります。

「かけはし」と「法定後見」の支援範囲の違い

	支援内容	かけはし		法定後見	
		○	△	○	×
日常生活に関する事	通帳や銀行印などの預かり	○		○	
	福祉サービスの利用契約		△ (在宅サービスののみ)	○	
	食事の支度や部屋の片付け	×		×	
療養・看護に関する事	入院・施設への入退所契約			×	○
	病院や施設での生活の見守り			×	○
	身元保証人 身元引受人			×	×
財産管理に関する事	不動産の処分や管理			×	○
	遺産分割			×	○

庄原地域センター
0824-72-5151

みんなに優しいまちづくり ～永末小学校2年生福祉教育～



12月11日、高齢者疑似体験を実施し、高齢者が日常生活で感じておられる、生活のしづらさについて学びました。「明日から、車イスや杖を使い困っておられるお年寄りを見かけたら、優しく声かけをしていきたい」と感想をいただきました。元気な時だからこそ、自分自身が困った時や困った人を見かけた時に“自分にできること”を学び合い、普段の学校生活の中でも支え合いの大切さを学びました。


西城地域センター
0824-82-2953

気持ちを込めた贈り物

西城紫水高等学校ではじまった1人暮らし高齢者へのプレゼント活動。昨年からは保育所・小学校・中学校が連携し地域へ感謝の気持ちを届けたいと一緒に実施されています。西城中学校からは、生徒会執行部の生徒が代表し高齢者宅を訪問されました。初めて活動に参加した生徒は緊張した様子でしたが、「昨年もらったカレンダーを見ながら、今年も楽しみに待っていました」などと声をかけてもらい、最後には「寒いので体に気をつけてください」と笑顔で声をかけていました。高齢者の方は、この日を楽しみにされており、「お礼の手紙を書こうと思います」などと話をしてくださいました。

プレゼントを贈る側、贈られる側、どちらも笑顔になれる素敵な活動だと思いました。


東城地域センター
08477-2-0488

地域の生活課題

“おせち”お届け隊を実施するにあたり、自治振興区ごとに、民生児童委員・一人暮らし高齢者等巡回相談員のみなさんと“おせち”の必要な方の情報交換や、申込み取りまとめについて、調整会議を行いました。また生活課題等、意見交換する中で、「Aさんがゴミ捨てに困っている」「Bさんは積雪時、外出できないので安否が心配」「交通事情が不便」など、様々な困り事を聴くことができました。

今後、皆さんからいただいた地域の生活課題を、“おたがいさまネット事業”などに繋げていきたいと思ひます。


口和地域センター
0824-89-2320

地域見守りネットワーク会議開催

口和町では自治振興区、支所と連携して見守り支援のネットワークづくりについて会議を重ねています。12月8日には、宮内ふれあいプラザで地域の皆さんと話し合いの場をもちました。出席者の方からは地域に沿った高齢者の見守りについて積極的な意見が多く出され、関心の高さがうかがえました。今後も関係機関と連携しながら各自自治会で会議の場をもたせていただき、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせる地域づくりを皆さんと一緒に行っていきたいと思ひます。





高野地域センター

0824-86-3044



毎月、集まれるねえ

老人クラブもなくなり、集まる事が少なくなった奥門田地域。「集まりがあればいいよねえ」の声に、地域の数名が「何とかせにゃあ」とこの度声を掛けられ、12月初旬、25名の参加で楽しい集まりが開催されました。「やっぱり集まることはいいよねえ。これからも集まるうや」の声。早速、今後の予定を確認。最初は、「毎月はできまあ」と話さず、「4月はまだ農作業は忙しゅうなからう、5月は、田植えが終わるやあいかろう・・・」結局毎月OK、「鍵開けは、わしがしようよあ」「参加人数確認は誰々にお願いしよう」と役割分担まで

できました。男性の参加も多いこの地域。頼りになります。これからも益々、笑顔が沢山あふれる奥門田になりますように。



比和地域センター

0824-85-2300



様々な体験をこれからの糧に・・・

12月14日、比和もっとまるごと餅つき大会を開催しました。「子どもたち～!!」と声をかけ、いつもの「子どもたち専用棒」での餅つきがスタートの合図です。今年で3回目という事で、大人の杵で餅つきのコツを教わったり、餅の丸め方を教わったり、自然と交流ができたように思います。また、今回は大人の参加者が少なかった分、子どもたちがそれぞれに役割を持ち、積極的に行動ができたようにも感じました。

様々な経験、体験が大人になってからの経験値として生かせるよう、これからも子どもたち、地域の方と一緒に事業を考えていきたいと思ひます。



総領地域センター

0824-88-2796



運転ボランティア研修会

おでかけ応援隊と過疎地有償運送事業こまわりくんの運転ボランティアを対象に、総領駐在所 須佐警部補を招いて、運転ボランティア研修会を開催しました。須佐警部補は、庄原市・総領町内の事故の傾向、有事の際にすべき対応や注意すること、冬期に備えてタイヤの知識などについて説明されました。参加したボランティアのみなさんは、時折質問をしながら

熱心に話を聞いておられ、安全な運転をしようとする気持ちが伝わってきました。

ボランティアのみなさんには、住民から感謝の声を多くいただいています。地域の元気を支えているボランティアさんに感謝します。これからもよろしくお願ひします。



マスクの使い方について

インフルエンザをはじめ感染症予防に、マスクを着用することが多くあります。正しい使い方

で感染を予防しましょう。マスクは、鼻から顎を覆える自分に合ったサイズを選び鼻と口の両方を鼻筋にフィットさせ、ゴムバンド(ひも)でしっかり固定します。

使い方の
注意
点
(不織布マスクの場合)

- ①原則使い捨てですので、一日1枚程度の使用とし、翌日には使い回さないようにしましょう。
- ②マスクを外す時は、鼻・口があたっていた部分には触れないようにしましょう。
- ③マスクを外した後は、手指にウイルスが付着している場合があるので、すぐに手洗いをしましょう。

よろず相談 のご案内



○一般相談(13:00~16:00)

- 毎週水曜日 庄原地域センター
第1・第3木曜日 西城地域センター
" 東城地域センター
" 口和地域センター
" 比和地域センター
第1・第3水曜日 高野地域センター
第2・第4水曜日 総領地域センター(9:00~11:00)

○法律相談

- ※予約制で一人の相談時間が30分以内です。
2月6日(金)・20日(金) 庄原市ふれあいセンター
相談時間は12:45~15:45です。

○多重債務相談

- ※予約制で一人の相談時間が45分以内です。
2月12日(木) 庄原市ふれあいセンター
相談時間は13:00~16:00です。

その他の相談にも応じています。
お近くの地域センターにお問い合わせください。

お知らせ

朗読 養成講座 ボランティア

ボランティアグループ「庄原 声の友の会」では、朗読ボランティア養成を目的とした講座を開催されます。

目の不自由な方への支援や朗読に興味・関心のある方は、ぜひご参加ください。

日 時 平成27年3月14日(土)
13:30~16:00(13:00~受付)

場 所 庄原市ふれあいセンター

対 象 朗読ボランティアに関心のある方

内 容 朗読の基礎技術

講師:元広島テレビ アナウンサー
新宅 富士夫先生

申 込 み 平成27年3月5日(木)までに、下記までお申し込みください。

庄原市ボランティアセンター
電話(0824)72-7120 FAX(0824)75-0084
E-mail: info@shakuyoshobara-ci.city.or.jp

主催:庄原声の友の会

後援:庄原市(予定)、庄原市社会福祉協議会(予定)

市民レポート

地域のものがたり

手話は“言葉”

●レポーター：東城町川島にお住まいの
山田 ヒロ子さん

私は、13年前に夫の定年退職を機に広島市から東城町に引っ越し、義母と三人で暮らしています。以前から東城に通って米作りをしていましたが、本格的に農業に精を出している毎日です。

また、やまびこネットや子育て支援など、ボランティア活動を通じて多くの方と繋がりができました。

そんな中、手話講習会があることを知り、すぐに参加申込みをしました。引っ越し前は、ろう学校の近くに住んでいて、通学する子ども達が“ササツ”と手を動かすだけで会話(手話)している姿を見て、私も習ってみたいと思っていました。始めてみると、手だけですべてを表現することはとても難しく、言葉が先に出ることがしばしばありました。最近では、地域のサークルなどで歌詞に手話を添えて歌ったりします。生活の中でも手話を使い、夫と二人で上達できるよう頑張っています。

手話は“言葉”、皆さんにも手話を知って頂けるよう地域で活動していきたいと思います。



山田喜章さん・ヒロ子さんご夫妻



手話通訳者養成講座の様子(東城)



やまびこ活動の様子

広告

**一人で悩まないで
まず相談してください。**

業務のご案内

- 不動産の名義変更 ●成年後見
- 相続登記・遺言 ●会社の登記
- 借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに書いています。

庄原 司法書士

司法書士 飯田 一生
《広島司法書士会所属》

広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号)(司法書士登録番号828号)
〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 ハルナシユB2階 TEL0824-72-2315 (要予約)

広告 備北交通 旅の御案内 庄原発

■主催：ひろでん中国新聞旅行 新春おすすめコース

- ① 2月16日(月)発 庄原発：山口大谷山荘1泊2日 1名1室OK 大人：28,800円～35,800円
- ② 2月27日(金)発 広島空港発：種子島・屋久島2泊3日広島空港から直航便 大人：99,000円～109,000円
- ③ 2月12日(木)発 三次駅発：和倉温泉・山代温泉3日間その他の日も有ります。大人：57,200円～71,200円
- ④ 3月8日(日)発 三次駅発：日本一加賀屋宿泊3日間 大人：62,200円～81,200円
- ⑤ 10月10日(土)発 広島港初入港：台湾・沖縄プレミアムクルーズ約91,000トン豪華客船 大人：158,000円～850,000円

備北交通の高速バス利用のバック商品も多数用意しています。
明けておめでとございます。本年も宜しくお願いします。
今年も備北交通まごころツアーよろしくお祈りします。

■備北交通の高速バスバック商品/ホテルコヒロデン宿泊バック：庄原発・東城発と有ります。 ■問合せ：0824-72-2122:備北交通
お問い合わせ 広島県知事登録旅行業第2-380号 申込先 (庄原)〒727-0011 庄原市東本町三丁目11番16号
備北交通株式会社 TEL (0824) 72-7440
(営業時間)月曜日～金曜日9:00～18:00 ※祝祭日を除く たび館 総合旅行業務取扱管理者 森久 昭博 FAX (0824) 72-0610

企業・団体広告、掲載のご案内
(福祉活動とCMの一石二鳥!!)

社協広報「元気かわら版」に広告を掲載してみませんか。企業の宣伝、団体のイベント等を募集しています。市内全戸に配布しておりますので、ひろく市民の目にとまります。毎月20日に発行しておりますので、ひろく市民の目にとまります。毎月20日に発行しておりますので、約1ヶ月前までにご相談いただければ、掲載したい月に広報できます。

※広告掲載の収益は、社協が行う地域活動の経費に活用させていただいております。詳しくは事務局に問い合わせください。説明にお伺いします。 電話(0824)72-7120